



電子申請推進コンソーシアムが 岐阜県と共同で実施している電子申請実証実験システムに Adobe Form Server と Adobe Central Pro Output Server を採用

XML 利用により、申請、受付、通知まで一貫した業務の自動化を実現

【2003 年 9 月 1 日】

アドビ システムズ 株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：石井 幹）は本日、電子申請推進コンソーシアム（会長：青木 宏之（株）日本法令 代表取締役社長）が岐阜県と共同で実施している「職員等採用に関する電子申請システムの実証実験」において、Adobe® Form Server と Adobe Central Pro Output Server が採用されたことを発表しました。同 2 製品を採用した電子申請システムは、2003 年 8 月 18 日より実施の職員等採用試験申込み受付から実証実験が開始されています。

電子申請推進コンソーシアムは、2002 年 4 月より、岐阜県と共同で「職員等採用試験受験申込み」受付業務において電子フォームと XML を活用した電子申請実証実験を展開してきました。昨年度の方式では申請者の端末に申請用のクライアントソフトを事前にダウンロードする必要がありましたが、今回 Adobe Form Server を採用することにより、Web ブラウザだけあれば正確なフォームの表示や記入サポートを受ける形での申請書作成、提出が可能となりました。

今回の「電子申請システム」に求められた要件は、以下のとおりです。

- 1) 申請者側のパソコン環境を選ばず、申請者に新たなソフトウェア等への投資を必要としない電子申請環境が実現できること。
- 2) 初めての申請でも使いやすい UI（ユーザインタフェース）を提供し、申請者側の負担を軽減すること。
- 3) 入力ミスや記入漏れを防ぐ機構をもつこと。
- 4) 受付側の作業を軽減できること。

Adobe Form Server および Adobe Central Pro Output Server は、これらの要件を満たす機能を備えているため、今回の実証実験システムに採用されました。

Adobe Form Server は、パソコン環境を問わず各ブラウザに最適な形式で高品位なフォームを表示し、記入内容の自動検証や自動計算機能なども利用できるほか、今回の実証実験では利用していませんが、電子署名を利用した申請も可能となっています。さらに、それぞれの記入欄への入力においても、対話形式での入力を促すいわゆる「ウィザード形式」でのフォーム配信が可能であり、この「ウィザード形式」による電子申請実現が今回の実証実験では重要なファクターとなりました。また、入力されたデータは XML としてデータベースや Web アプリケーションに自動的に取り込むことができ、バックエンドのシステムとのシームレスな連携を実現しています。今回の実証実験システムでは、これらの機能を備えた Adobe Form Server を導入することにより、初めて記入する申請者でも、戸惑うことなく正確な情報が記入できる仕組みを実現しました。これにより、記入者の入力の負担が軽減できるだけでなく、間違っただけでなく、間違ったデータの入力や記入漏れを防げるため、データを処理する県庁側の業務の負担も軽減できるようになります。

Adobe Central Pro Output Server は、XML データベースから抽出された XML データと、様式のテンプレートを統合して PDF や「紙」への出力を実現する製品で、バックエンドからのデータを人にわかりやすいフォームの形式に成型し、配信するまでの工程を自動化することができます。今回の実証実験システム内では、XML データとして取り込まれた入力データから自動的に各申請者の受験票の PDF を作成し、メールで各申請者へと自動配信します。また、この XML データは、データ変換され県庁内での受付業務等にも活用されるため、申請から受付、通知、保存まで、手作業やデータの再入力の必要がない、一貫した業務の自動化が実現できます。

今回の実証実験システムの構築、運用、及びウィザード形式の電子フォーム設計には以下のコンソーシアム会員企業が参加しています。

アドビシステムズ 株式会社
大日本印刷株式会社
株式会社 TKC
日本ボルチモアテクノロジーズ株式会社
株式会社日立システムアンドサービス
日立ソフト（登記名称は日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社）
プログレスソフトウェア株式会社
（五十音順）

アドビシステムズ 株式会社 代表取締役社長 石井 幹は、「今回の岐阜県での実績を積極的に活用し、電子申請推進コンソーシアムの各会員企業と協力して、全国の自治体や共同運用モデルでの申請プラットフォームとして、さらに拡販していきます」と述べています。

なお、この実証実験は 2004 年 3 月に終了予定です。

Adobe Form Server 日本語版の詳細情報は以下の URL をご参照ください。

<http://www.adobe.co.jp/products/server/formserver/main.html>

Adobe Central Pro Output Server 日本語版の詳細情報は以下の URL をご参照ください。

<http://www.adobe.co.jp/products/server/centralpro/main.html>

電子申請推進コンソーシアムについて

電子申請推進コンソーシアムは、電子政府が推進されるなか、民間から行政機関への申請・届出業務を現在の「紙」ベースのプロセスから、インターネットをベースとしたプロセス（=e-process）への移行を提案・推進することにより、申請者の利便性と業務効率を向上させ、社会インフラコストの低減を目指すことを目的とした非営利団体です。現在、34 社の加盟企業が、利便性と効率性が高く、安心して利用できる電子申請システムの実現のために、インフラ、ビジネスモデルなど様々な角度から電子申請に関する実験・提案を行っています。活動の一環として、2002 年 4 月より、岐阜県と共同で職員等採用試験の受験申込み受付の電子申請システムの実証実験を行っています。

URL: <http://www.e-ap.gr.jp>

アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、1982年に創立された、米国カリフォルニア州サンノゼに本社をおくソフトウェア会社です。これまで、法人ユーザおよびクリエイター向けに様々なソフトウェアを提供し、ネットワークパブリッシングを推進してきました。それらの製品は、豊かな視覚効果にあふれ、魅力的で、信頼度の高いコンテンツの制作、管理、配信を可能にします。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。詳細な情報は、Web サイト <http://www.adobe.co.jp/> でご覧いただけます。